

ことでは、今後こういったスポーツ事業を手始めとして、定期的に継続した事業を展開しながら、障がいのある方へのスポーツ提供を充実してまいりたいというふうに考えております。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 以上で質問を終了させていただきます。ありがとうございました。

### 町田義昭委員の総括質疑

○大道寺 信委員長 次に、順位4番、議席番号10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 私は、長井市が後世に負担の少ない、そして、ならば残らないような自治体になってくればいいなと、そういう願いを込めまして総括質疑をさせていただきます。

1点だけでございますので、時間はあっという間に終わるわけで、しかしながら、後の発言者に迷惑がかかるというような状況もつくっておりますので、ちょっと余談をさせていただきたいなと、そのように思います。

けさ私が市役所に参りましたのは、9時40分でございます。玄関先でスキー連盟の会長さんと出くわしました。その会長さんの言葉に、議員の種はいい種だな、どこから求められたんですかということを言われました。いや、私の種は年寄りですので、いい種ではございませんと、この種は若い議員の種でございますというような話をしました。皆さんは何を言ってるのかもちろんわからないと思いますけども、実は私と梅津議員でつまらないことを春先考えました。というのは、道照寺平スキー場に、前市長のときにあそこにコミュニティ資金を利用してちょっとした花壇をつくりました。しかしながら、その花壇はスキー場の改修によって撤去されまして、今はそうした状況になっていないという

ことで、野草の花はあるかもしれませんがも人工的な花は一切ないというようなことで、水と緑と花の長井には決してふさわしい状況でなくなったなというようなこともありまして、何かあそこに1本でもいいから2本でもいいから花を咲かせようじゃないかと、東北に花を咲かせるではなくて、長井に、道照寺平に花を咲かせようじゃないかというようなことで、梅津議員にそれ持っていただきまして、コスモスの種をいただきました。そして、私がまきました。

コミュニティセンターの南側、ちょっと平らなところに1カ所と、それから、第1リフトですか、その終点のところに1カ所まきました。そのまくときに、スポーツ課長、そしてスキー連盟の会長さんに、こうこうこうしますので許可をいただきたいというようなことを申し上げましたら、結構です、会長さんには、でもコスモスは育たないと思いますときっぱり言われました。私も前の年にまきましたけども今もって花を見たことがございませんと、でありますから両議員がまいた花も咲かないでしょうと、そう言われましたけども、9月12日に文教委員会で今回の補正予算に係る施設等々を踏査をしながら、その過程で道照寺平にも立ち寄りさせていただきました。

そのとき私は、あっと驚きました。と申しますのは、私も種をまいた人間ですので、確認作業を3回やってるんですね、その後。しかしながら、強烈な乾燥時期に入った。そして7・22の、今、蒲生委員がおっしゃられた豪雨ということで、物の見事に流されたなというようなことで極めてがっかりしていた矢先でありましたので、それは一面コスモス畑なんていう状態ではないんですけども、とにかく数十本手前に咲いておったと。そして、遠く眺めますと、何か色気の違うものが見えるなど、2カ所ぐらい。上まで上る予定はなかったんですけども、5人ほどで第1リフトまで行ったら、ここにもちゃ

んとコスモスが咲いておったと。ついででありますので第2リフトの頂上まで委員長と上って、きちっと道照寺平の今後の計画を頂上でさせていただきます。そんな経過もありまして、やはり何もないよりはきれいなものがあつたほうがいいかと、そして少しは心が安らぐのかなと、そんなふうに思った次第でございます。

本題に入りますわけでございますけれども、先ほども申し上げましたとおり、9月の12日に文教委員会で、長井小学校の職員室並びに昇降口、そしてトイレの改修をするというようなことでる説明をいただきました。私はなぜ改修するんだらうかなと、そういう疑問を、これは私だけの発想なのかもしれませんけれども、常に最初不思議に思うことにしておりますので、なぜ職員室の改装をするんだらうかなと。あるいは、なぜ昇降口とトイレを改修するんだらうかなというふうに考える性格なものでありまして、今、長井は耐震事業はほぼ終了して、文教施設に関しては大規模改修というような方向に向かっているわけございまして、この大規模改修の事業の中にこうした職員室の改装とか、あるいはトイレ、あるいは昇降口の改修ですかね、そういうものが含まれているのか、そうした点について、大規模改修の内容ですね、どれぐらいのものを大規模改修というのか、その点についてもまだ私は十分に理解しておりませんので、この点について教育長にお聞きをしたいと思いません。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 大規模改修の計画でございますが、文教常任委員会協議会の折にも示しましたとおり、26年度から10年かけての計画ということで立てさせていただいてございます。耐震化の部分については、長井小学校の体育館の改築をもって、また致芳小学校の体育館、それから西根小学校の体育館の耐震化工事ということで、一応鉄筋コンクリート建ての非木造の校舎、

あるいは体育館等については終了ということで、その部分の耐震化については終了したということで、一区切りということになっております。

ただ、現在も使用しております長井小学校の第1校舎は木造の部分ということで、まだその部分が終わっていないということが課題になっておりました。あと加えて、耐震化は終了したわけでありましたが、それぞれ各小中学校の建設年度が似通った年度にございまして、その部分の劣化というんですかね、それから補修が必要な部分はかなり出てきております。委員にも見ていただきましたように、壁面が朽ちてぼろぼろになって落ちてくるような状態になっていたり、あるいは校内の床面が波立っていたりとか、それぞれ学校によってさまざまでありましたけれども、大規模改修が必要になってきております。それについて、年次を追って進めてまいりたいというふうに考えております。ただ、長井小学校のほうについては、現在、2校舎と3校舎の耐震化が終了しております。ただ、手つかずになっておりましたのが、今回補正予算に上げていただきました昇降口部分であります。その部分については今回の補正に上げさせていただいたということであります。

大規模改修というものと、それから普通の改修というところの違いについては、ちょっと私も不案内な部分がありますので、課長のほうから後で、何千万円以上が補助率がこうなっているのがあるのだと思いますけれども、その辺については後で答えていただきたいと思います。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 昇降口とトイレが大規模改修の項目の中に入っておつたのかと、その点についてだけ1点について確認したいなというふうに思います。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 いわゆる今年度の補正で上げさせた部分については、前回協議会でお示しし

た計画の中には入ってございません。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 そうした状況の中で、職員室はこちらに置いておって、昇降口とトイレについての議論をしたいなと思ってるんですけども、見るからに私はすばらしいなと、そういうふうに思いました。そのすばらしいということは後で申し上げるつもりにしておりますけども、管理課長にこれ築何年ぐらいの建物だろうかというふうに思ってるんですけども、この点についてお聞かせください。

○大道寺 信委員長 遠藤敏男管理課長。

○遠藤敏男管理課長兼学校給食共同調理場長 お答えします。

長井小学校の昇降口ですが、木造部分と鉄筋コンクリート造の部分の2つに分かれておまして、南側の昇降口と廊下の部分は木造でございます。昭和40年8月竣工ですので、築48年経過しております。それから、北側の昇降口とトイレについては鉄筋コンクリート造で、昭和47年5月竣工ですので築41年ということでございます。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 少なくとも40年ぐらいたってるんじゃないかなと某議員がおっしゃられたんでありますけども、まさしくそのとおりだなと、そのように思いました。

これぐらいの建物になると、やはり改修をしたらいいのか、あるいは新築したらいいのかというような議論がなされて当然だなと私は思うんですけども、この点について教育長にお尋ねしますけども、あくまでも改修という選択肢しかなかったのか、全面改築という議論というのはなされなかったのか、この点についてお聞かせいただきたいと思えます。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 実は体育館が改築になるという折に、その改築を念頭に、平成22年度に耐力

調査、これは建物の危険な状態の度合いを測定する調査、これを行ってございます。耐力度の点数というのは1万点が満点で、木造は5,500点以下、それから鉄筋コンクリートの場合は4,500点以下であれば危険な建物として扱いになって、国庫補助危険改築事業、補助率が10分の5.5、これは体育館についてはこれの適用を受けたわけでありまして、調査の結果、木造部分の南側は6,269点、それから鉄筋コンクリート造部分北側は4,950点で、危険な建物からは除外されたということでございます。

同じ工事でやることになった場合には補助事業の要件を満たさないということがわかりまして、改築するには単独事業として実施しなければならないと。そんなこともございまして、体育館改築と一緒にできなかったというのが実態でございます。

○大道寺 信委員長 ここで暫時休憩いたします。再開は3時20分といたします。

午後 2時58分 休憩

午後 3時20分 再開

○大道寺 信委員長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

町田義昭委員の質疑を続行いたします。

10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 教育長からは、補助事業対象物には該当しないというような確認の上で改修対象事業に切り替えたというようなお話があったんですけども、今、長井市が推し進めている方針に沿って行われたというふうには理解をするわけでありまして、果たしてこれが将来的に本当にベストなのかなというものについては、少し私はクエスチョンが残るなど、そういうふうに思えます。こうした教育現場、

あるいは教育施設というものはベターなものを求めるのじゃなくて、やっぱりベストを求めて常に目標をきちっと定めていくというものは大事になってくるのではないかなというふうに理解をしているところでございます。

管理課長にお聞きをしますけども、改修の内容と全体の費用とか金額についてはいかがでしょうか、お聞きします。

○大道寺 信委員長 遠藤敏男管理課長。

○遠藤敏男管理課長兼学校給食共同調理場長 お答えします。

このたびの補正、工事費のほうは2,281万4,000円をお願いしておりますが、当初の工事費でありました2,200万円もでございますので、合計いたしますと4,481万4,000円の工事となります。この件に関しましては文教常任委員会の協議会の追加資料として提出させていただきましたが、改修の主な内容の中での昇降口部分、トイレ部分についてご説明申し上げますと、屋根の防水工事、それから外装の塗装がえ、それから廊下の床の張りかえ、防犯カメラの設置、トイレの洋式化、トイレの床、それから間仕切り建具の改修ということで、昇降口とトイレの部分に関しましては工事費、税込みの部分で粗々に算出させていただきますと4,000万円ちょっと、4,100万円程度になろうかなというふうに見ております。以上でございます。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 そうした改修をすることによって、その建物がどれぐらいの延命というか、経費がかからない状態の中で使うことができるかということをご概算でよろしいので教えてください。

○大道寺 信委員長 遠藤敏男管理課長。

○遠藤敏男管理課長兼学校給食共同調理場長 お答えします。

今回の改修工事は、経年により通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置を実施

して、教育環境の改善を図るために行うものでございます。雨漏り防止等の修繕を施すことによりまして、ある程度建物の耐久性は向上するものの、躯体、そのうち実際に建物を支えている部分の柱とかはりなどの建物の骨組みでございますが、そちらには手を加えないことから構造の耐力がふえないので、耐用年数という部分については変わらないということで、ある程度建物の耐久性を向上させるというような改修になります。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 耐用年数については変わらないという答えをいただきましたけども、耐用年数というのは、この建物の場合どれぐらいのものであったのでしょうか。あとまた、私は過ぎてるんじゃないかなと、そういう認識するんですけども、いかがでしょうか。

○大道寺 信委員長 遠藤敏男管理課長。

○遠藤敏男管理課長兼学校給食共同調理場長 鉄筋コンクリート造の場合は、国の基準とかから申しますと60年ぐらいになっております。木造のほうは、申しわけございません、ちょっと手元に資料がございませんが、鉄筋のほうはそのようなことでございます。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 いずれにしても、前回の協議会のときも主幹が申された言葉の中に、10年ぐらいを考えているんではないかというような話をされました。私的には、正直な話、仮8年だなど、そういうふうに理解をしております。48年経過した、あるいは40年を経過しているという建物に対して、躯体に手をかけないで周りを化粧するということによって、果たして費用対効果が正しく理解されるのかなと、そういうことを考えておるわけで、この点について、市長はどのように考えているのかお聞かせください。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

先ほど教育長のほうから、平成22年に長井小学校の将来検討委員会という学校関係者、PTAとか、あと教育委員会と一緒にあって、その結果を受けて、4点ほど実は確認したものがああります。まず第1点目は、体育館についてはこれは耐震度足りないということなものですから、それこそ昭和38年の建物ですから、今さら耐震化じゃなくて改築するということ、これがまず第1点。あと第2点目は、第2校舎は平成16年に耐震化してるはずで。

(「13年」の声あり)

**○内容重治市長** 13年。ごめんなさい。平成13年に耐震化しております。大規模改修しました。第3校舎については、23年に耐震化と大規模改修をした。第1校舎、2つはそれでやるということで、23年に第3校舎は耐震化したわけですから、とりあえずですね。それと、第1校舎をどうするかといったときに、将来的に耐震度調査をして、耐震度と、それから大規模改修を図っていくこと。これが3点ですね、第1、第2、第3。あと、昇降口については、将来、昇降口と職員室を一体として整備すべきだと。これは補助対象外になるというふうに聞きました。そこで、最後に第2校舎と第3校舎を、第3校舎が10年間は補助を受けられますから使わなきゃいけない。補助金返還しないというふうに考えますと、平成33年以降に第2校舎と第3校舎は取り壊して新しくすると。並びは第2校舎のところじゃないと曲がるんですね。第3校舎を取り壊して第2校舎も取り壊して、第2校舎のところは新しい長井小学校を改築すると。そして、同時に体育館と新しい校舎の間に昇降口と職員室をつくと。そうしますと、職員室でも子供たちの登校の状況や、あるいはグラウンドの状況とか体育館とか校舎のほう、全部管理できますので、それが一番いいだろうという結論に至ったんです。

したがって、町田委員がおっしゃるのはごも

っともなんですが、とりあえずは平成33年から5年の間にそれを改築するということで、その間の10年間は今の昇降口、あとトイレとか雨漏りとか、一部直しましたけども、床も剥がれてるとかということがありましたので、いずれにしろ手をつけなきゃいけないので、10年間は最小限というよりも、長井市内で長井小学校だけなわけですね、昭和40年代の建物。ですから、10年間でちょっともつたいないかもしれないけども、外壁と屋根とトイレ、それだけを直そうと。第1校舎については来年、耐震度調査をして、できれば補助事業を使って整備して、10年後に第1校舎を切り離すと、文化財にするということをやっていくこと。ちょっと今、口頭でばあっと言ったものですから言っている意味がわからないかもしれませんが、そんなことで第3校舎じゃなくて第2校舎の位置に新しくつくるものですから、やっぱり一体となった昇降口、職員室につくるべきだということで、ただし10年間は子供たちに我慢していただかなきゃいけないので、最低限、物はちゃんと整備すべきじゃないかということで、ちょっと4,000万円という高い結構な金額ですけども、それぐらいするべきじゃないかというふうに私からも教育委員会にお願いして、していただくことになりました。ただし、職員室は最低限、200万円ぐらいしか、たしかかけないはずだと思います。そんなこと的狀況ですんで、ご理解いただきたいと思ひます。

**○大道寺 信委員長** 10番、町田義昭委員。

**○10番 町田義昭委員** 私は、今、市長が申されたその話は今まで聞いていませんでしたので、なぜこれぐらい年数経過した建物に4,000万円もの投資をするのかなと、そして子供たちに10年も我慢をさせるのかなと、正直率直にそう思いました。ただ、今そうした狀況を聞くことによって、それはそれで仕方がないのかなという部分もありますけれども、第2校舎の改築、大

規模改修がきちっと見えるということであるならば、昇降口とトイレと先生方の職員室ですか、そういうものを早く先行建築が私はできないものかなと。今、市長が申された通り、その部分については補助対象外なんだということでもありますので、それは今も対象外ですし、10年先も対象外になるわけですね。そうしたところの考え方というものをもう少し弾力を持って進めてはいかかなと今考えてるわけで。と申しますのは、長井小学校は800人の児童の学校ですよ。こんなに利用する、正直言ってトイレなんてないわけですよ。あのトイレを洋式化しても、本当に子供たちが我慢はできるけど満足はできないのかなと、私は今そんなふうに考えております。

いろんな計画あるんでしょうけど、子供たちにとってみれば、10年間というのはものすごい長いと思うんですよ。早く入れてあげると、そういう環境を満たしてあげるといふ施政方針があっても、教育方針があってもいいのではないかなと、こう私、今感じているんですけども、この点について、教育長はいかがでしょう。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 今、市長の答弁にもありましたように、10年後、三十四、五年ごろをめどに第2校舎の改築ということで、その折には本当にきれいな昇降口で、本当に朝やる気が出るような、そういうものになるわけでもありますけども、先ほどありましたように、昇降口と職員室だけを単独でとなると補助の関係がちょっとだめになるわけですが、校舎と一体の整備改築というふうになれば、一体としてそれは認められるんでないかなというふうに思っております。そのことと、それから、今ありましたように10年間我慢をしてというご指摘ございましたけれども、今回計画されたような整備をしていただければ、今の状態から見れば本当にすばらしい環境になるんでないかなというふうに考え

ております。そんなことで、何とか市費もたくさんいただくわけでありまして、何とかお認めいただいて、子供たちの環境改善をしていただいて、子供たちの学習環境の整備ということでお認めいただければなというふうにお願いしたいなというふうに思っております。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 教育長からはすばらしい環境になると思いますということでもありますけども、私はそうは思いません。そんな大したものではないんでしょうねというふうに思っております。

と申しますのは、たまたまBS放送で学校施設が大きく変わるというちょっと特集を見たことがあったわけです。その中で、今一番全国の学校は耐震工事が大体積極的に取り組んで、そして年々達成度は高まっていると。つまり高まっていた中で、これから手をかけるのはどこだということになりますと、私たち長井市も当然ですけども、やはり和式のトイレから洋式のトイレに移ろうとしていると。そこでというようなことで、いろんな例を挙げていただきながら、一工夫、二工夫ある学校のトイレと、そういう特集をやっておられました。

余談になりますけども、その中で一番最初の原点になるんですけども、今の園児、あるいは児童館の子供たちがテストをやっておったんですね。50人を対象にして模擬の和式トイレをつくって、外からカメラを入れておったと。あれは何に利用するんでしょうかねということやっておったんですけども、私は50人ですので少なくとも五、六人は理解するんだろうなと思っておったんですけども、たった1人だけですよ、それがわかったのは。ここまで来てるんで、やはり特に小学校のトイレなんていうのは100%洋式でしょうねと教育長に言ったら、それは当然ですよという答えが返ってきたんで、そうなのかなと思っております。

そうしたときに、やはり一工夫も二工夫もするトイレ、私もものすごく興味がありまして、生理現象のために用を足してくるというだけでなく、何か一つの、特に1年生から6年生まで、長井の場合はものすごく条件がいいと思いますね、小学校が。ということは、トイレはトイレで単独でなくて、トイレと昇降口が一緒になってるものですから、常に児童の上級生と下級生が交流の場があるというようなことで、コミュニケーションにはもってこいのセッティングじゃないのかなと、そういうふうに今感じたわけで、先ほど市長に10年後の計画というのは私聞いておりませんでしたものですから、何でこの程度の改修で済ませてしまうのかなと強烈にそのように思ったわけで、財政課長にちょっとお尋ねしますけども、やはり財政課長はそれは教育委員会のほうでこういう改修をしたいからというようなことで、ああそうですか、じゃあ幾らという予算のつけ方と、あるいは、少しアドバイスをしながらやっていくというスタイルもあるのではないかなと、そんなふうに今思っているわけで、特に生涯学習プラザの舗装のときに、生涯スポーツ課長のほうから財政課長のアドバイスもありましたのでこうした予算、元氣交付金をセットできましたというお話があったわけで、今回の場合は財政課長としてはそこまでの考え方はなかったのか、その点についてお聞かせください。

○大道寺 信委員長 齋藤環樹財政課長。

○齋藤環樹財政課長 お答えいたします。

このたびの昇降口の部分を含む、いわゆる当初予算では第1校舎等改修事業という名前になってございまして、当初予算の予定では、第1校舎、職員室等の建具、内装、電灯、設備改修のほか、昇降口の屋根の一部外壁塗装等を行うため、工事請負費としては2,200万円ほどを計上させていただいたところでした。その後、学校との要望協議を踏まえて、当面必要な教育環

境を整備するため、昇降口の屋根の全面的な改修や内装、床・天井張りかえ、それにトイレの改修等も行うため、このたびの9月補正で、工事費としましては2,281万4,000円の工事請負費の追加を予定したものでございます。

当初予定していた第1校舎の改修部分につきましては、このたびの補正では最小限にとどめまして、今後補助事業等を活用して、平成27年度ごろに実施予定の耐震補強工事と並行して実施する予定とお聞きしております。

それから、このたびの昇降口部分の改修につきましては、元利償還金につきましては、後年度交付税算入措置のある小学校施設整備事業債への充当を予定させていただいております、この市債の償還期間が2年据え置き、8年償還、合わせて10年間ということで、10年間程度は使用できるということで措置したところでございます。

その後の取り扱いにつきましては、第1校舎の職員室等の整備その他を含めて、将来的な第2校舎の改築とあわせて考慮されるものと考えているところでございまして、この種の計画整備につきましては、望ましいのはパズルを当てはめるようにきれいに全体を俯瞰して全体的に最適な方法をできるのがよろしいかとは思いますが、これまでの長井小学校の改築等につきましては、過去の市の財政事情、いろいろな状況がございまして、一部対症的な対応も行ったわけですが、現時点としましては、先ほど申し上げましたように当面必要な教育環境を要望されているということでございまして、その部分の最適を求めるということで、このたびの補正を予定させていただいたところでございます。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 それは立場立場でそのような理解をするというようなことでございまして、それに対しては何も申し上げるつもり

はありませんけども、やはり全面改築した場合にどれぐらいかかるんだろうかなというようなことは全然考えなかったんでしょうかね。やはり先ほど市長も10年後大規模改修という中に設定をするというような考え方だから、昇降口は全面改築するという考えは恐らくなかったのかなと思いますけども、その点についてどちら、市長でいいですか。じゃあ市長。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 将来的に例えば昇降口と職員室を新たにつくった場合、第2校舎で一体と、改築、全部取り壊して新しくするというですと、補助対象になるというふうに見てます。第3校舎は平成23年にとりあえず耐震化と大規模改修をしまして、10年間は使わないと補助金返還になりますので、そんなことでとりあえずまず平成22年にそういう方向性を出して、多分概算の事業費では10数億円だろうと、15億円とかぐらいだろうと。あと、第1校舎をどうするかということも実は問題になってまして、第1校舎も耐震化して大規模改修した後に文化施設に切り離せば補助を受けられるんですが、最初から切り離さざるを得ません、第2校舎を新しくすると第1校舎は職員室も含めて使わなくなりますので。そうしますとそちらのほうの整備手法がなくなるということで、一つの決断としては、町田委員おっしゃるように長井小学校だけ古いわけですから、古いといってもほかの新しい小学校でも昭和50年代の建物ですんでね、全体的にもう古くはなってるんですが、長井小学校をもう一回新たにするのは10年後ぐらいしかできないのかなと。南北中もこれから大規模改修しますと、それぞれの学校で多分4億円、5億円かかります。それだけで10億円ぐらいかかりますし、豊田、平野、西根はまだ終わらせてません。伊佐沢と、そういったことも大規模改修してきますと、全体事業費としては20億円近くかかるのかなと。それが多分これから五、六

年の間でやりますので、それで長井小学校の第1校舎。そうしますと、残念ですけど、長井小学校については第2、第3は耐震度と大規模改修してますんで、何とかあと10年我慢していただくしかないのかなというふうに考えたところです。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 今、市長が語られた言葉、それは十分理解するわけでありますけども、私は今回改修する昇降口とトイレの部分について全面改築という考え方は出なかったのか、なかったのかということをおっしゃっているの、その部分についておっしゃってください。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 長々と話して申しわけありません。第1校舎の耐震度調査を来年しまして、耐震化と大規模改修が終わった後に職員室と昇降口を一緒にするというふうにしなないと第1校舎の整備手法がないということになりますので、それを考えて今回は新しくできなかったというふうに判断したところです。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 できない理由がはっきりしてるんで、それはしようがないと思いますけども、私はその部分だけ新しくしてしまえば、そんなに何億円もかかんないかなと、そういうふうに単純に私的には思ったものですから、1億円ちょっとぐらいでできるのかなと。そうしたときに4,000万円の投資というのは、これはいかななものかなと、そういうふうに感じたもので、改修といっても黒に白をまぜても灰色にしかありませんのでね、もっとやっぱり白を追求していくべきなのかなと。

そうした長期的なものの部分について私も勉強不足でありましたので、それは十分に理解しますし、また10年後、そうした大規模改修を期待しておりますし、そのときに、私がきょう持っているような一手間、二手間をかけたトイレと



いうものについても、さまざまな地域に研修に行かれたりして勉強してほしいなど、私はそう思っております。私たちもしますけども、やはり見ないことには始まらないのじゃないかなと、こう思っておりますので、その点について教育長のお考えをお聞かせください。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 ありがとうございます。トイレについては、まず洋式化していただくということと、実は長井市で初めてなのかな、ウォッシュレットを入れていただくことになりました。これは今後の大規模改修のスタートになるかと思っておりますので、ぜひ町田委員がお考えのような、子供たちの、何というんですか、コミュニケーションのほっとできるような、そういうスペースになるきっかけになる改修でないかなと思っております。このことをまた教育委員の研修の機会などもありますので、そういった先進校などについても勉強させていただければと思います。ありがとうございます。

○大道寺 信委員長 10番、町田義昭委員。

○10番 町田義昭委員 私、別にトイレにこだわってるんじゃないんですけども、よく生涯学習プラザに関しても、トイレだけはきれいにしてほしいなど。やはり観光地へ行けば、トイレの汚いところは観光地としてはランクづけが絶対に上に行けないという条件があるくらいです。特に学校のトイレは一般家庭のトイレよりも質はるかに、今の状態だと劣ると思うんですよね。それは私は、子供たちは正直言って、それも教育だと言われればこれまたどうしようもないんですけども、私はつらいものがあると思います。くどくど申し上げるつもりはないんですけども、ぜひいいものを将来確実に建築してほしいなど、そのように思っております。

最初のコスモスの話に戻りますけれども、ことし少し咲きましたので、来年はことしよりも多く咲いてくれるんじゃないかなと、そんなよ

うに期待しております。梅津議員が求めていただいた種がすばらしいので、それを受け継いでくれるんじゃないかなと、そんなように思っております。

道照寺平というのは長井市、正直言って全貌はできないんですけども、あそこの上から眺めた長井市は飯豊町の散居村、あの姿にも劣るともまさらない私は景色じゃないかなと、そう思っておりますし、通年の利用にもコミュニティセンターもありますので、何とか花を少しずつふやして楽しめる場にしていきたいなど、そのように考えております。

そして、まさるとも劣らないものにしていこうじゃないですかということをお願いしたいと思います。

ちょっと市長の考えと私の認識がずれておった部分がありましたので、私はもっともっと強く申し上げていきたいなどという部分もあって今、質問、今回させていただいたんですけども、納得しなければいけない状況というものも出てきましたので、この質問については終わりにしたいと思います。ありがとうございます。

## 散 会

○大道寺 信委員長 本日はこれをもって散会いたします。再開は、あす午前10時といたします。ご協力ありがとうございました。

午後 3時52分 散会